

フロン類等対策に係る今後の議論の進め方について（案）

平成 24 年 8 月 7 日
事 務 局

当合同会議において、今後フロン類等対策を検討していくに当たっては、エネルギー・環境会議において地球温暖化対策の議論が進行中であること、本年 10 月にフロン回収・破壊法が見直し検討時期を迎えること等を踏まえつつ、1. のような前提の下、2. の事項について具体的に検討していくこととしてはどうか。

1. 議論の前提**(1) 目指すべき将来像**

○中環審地球環境部会「2013 年以降の対策・施策に関する報告書」（2012 年 6 月）を参照しつつ、「高い温室効果を持つフロン類等の環境排出を 2050 年までにほぼ廃絶する」ことを将来像として想定する。

(2) 当面講ずべき対策の基本的考え方

○上記の将来像に向け、当面は、今後見込まれるフロン類（特に冷凍空調機器の冷媒用途の HFC）のストック及び排出量の急増傾向を早期に減少に転換させることを目標とする。

○このため、「冷媒転換」と「冷媒管理」、「冷媒回収・破壊の強化、再利用」を並行して推進。現行の冷媒・製品の代替品の普及を促進するとともに、再生冷媒の使用を促し、機器使用時・廃棄時のフロン類の環境放出を最小化する等の対策を講じる。

（※この前提については、今後、必要に応じ、エネルギー・環境会議で決定される革新的エネルギー・環境戦略との整合性につき考慮が必要）

2. 当合同会議での主な検討事項**① 冷凍空調機器の冷媒転換等 → 本日の議題（2）**

※冷媒以外のフロン製品（断熱材、エアゾール等）は、第 5 回会議で検討予定。

② 回収・破壊制度の改善、回収冷媒の再利用の促進等

：現行の回収・破壊制度の課題と対策 → **本日の議題（3）**

：回収冷媒の再利用の促進等 → **第 5 回会議で検討**

③ 冷媒管理の促進等 → 第 4 回会議で検討**④ その他**

3. 今後の検討スケジュール

○第3回合同会議（本日）

8月7日（火）15：00～17：30

- －フロン類等対策に係る今後の議論の進め方（本資料）
- －冷凍空調機器の冷媒転換
- －現行の回収・破壊制度の課題と対策

○第4回合同会議

9月24日（月）15：00～17：30

- －冷媒管理体制構築のための実証モデル事業中間報告
- －冷媒管理の促進

○第5回合同会議

10月22日（月）15：00～17：30

- －回収冷媒の再利用の促進等
- －フロン類等使用製品の代替促進等

○第6回合同会議

11月（下旬）

- －報告書案討議

○第7回合同会議

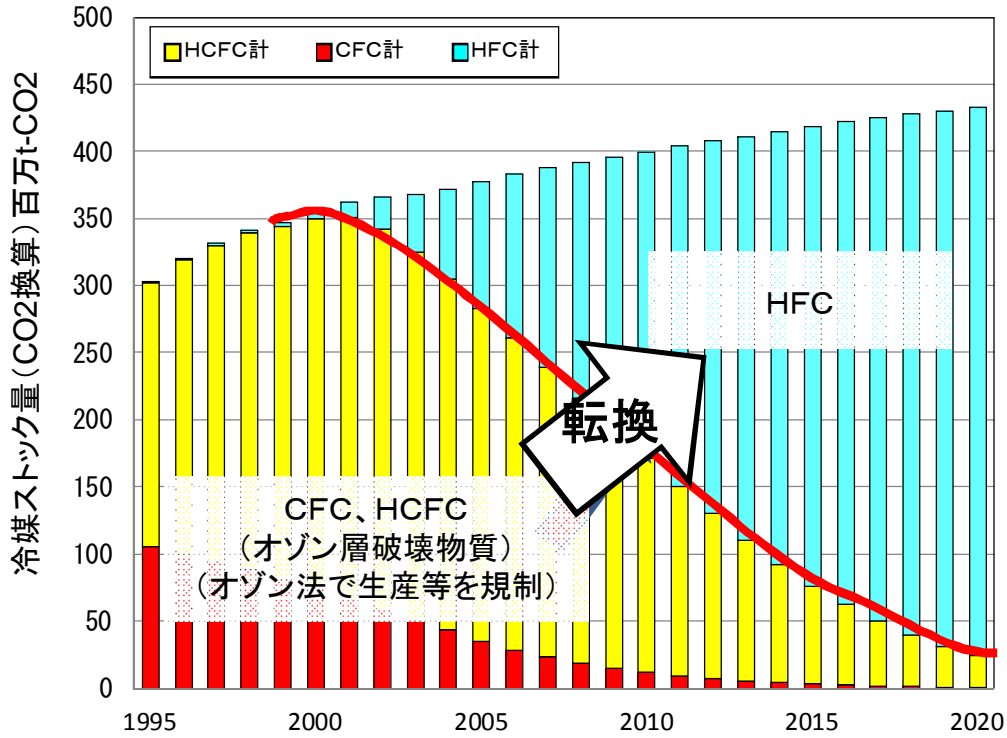
12月（中旬）

- －報告書とりまとめ

※第6回以降は今後日程調整

○CFC等からの転換で、冷凍空調機器中のHFCストックが増加。

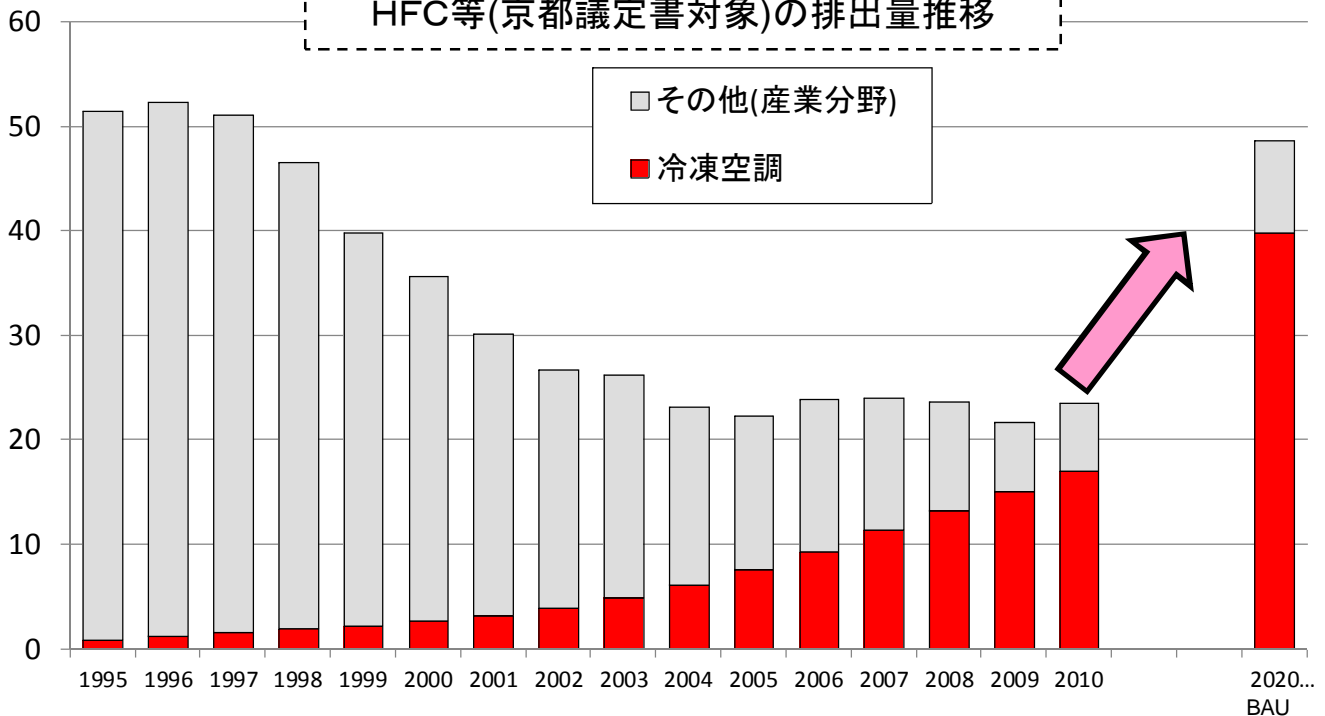
業務用冷凍空調機器等の冷媒使用量 (BAU推計) (CO2換算)



○HFC等の排出量は、今後急増(2020年で2倍超)し、そのうち多くが冷凍空調分野となる見込み。

(百万t-CO2)

HFC等(京都議定書対象)の排出量推移



(BAU: Business As Usual ※フロン分野の排出推計においては、現状の対策を継続した場合の推計を示す。)